

納別金料
郵便



神田女学園同窓会

第32号 2026.9.11

竹水通信

発行 神田女学園 竹水会(ちくすいかい)
事務局 〒101-0064 東京都
千代田区神田猿樂町2丁目3番6号
TEL 03(6383) 3751
FAX 03(3233) 1890
メール chikusui@kandajogakuen.ed.jp
印刷 株式会社アイト



西神田交差点付近



日本大学経済学部校舎



白山通り古書店



奥野かるた



東京歯科大学

ご挨拶

会長 竹内 喜代美

竹水会の皆様におかれましては、益々のご健勝で、ご活躍のことと、お喜び申し上げます。

また日頃より、竹水会の活動にご協力、ご支援を賜り、大変ありがたく、深く感謝申し上げます。

今年七月熊本県地震において、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、今年はたくさんのご感動をもちょうことが出来ました。ミラノ冬季オリンピックでは日本人選手の活躍がありました。勿論、日々の努力、練習の成果であるとは思いますが、その活躍に感動したことは当然ですが、様々な場面でサポートしている方々への感謝の気持ちを表現されていることにも感動いたしました。常に感謝の気持ちを忘れない、大切なことだと改めて考えさせられました。また、春の甲子園では、代打の場面で、三塁側のアルプススタンドから「ハッピーバースデー」の歌と演奏に相手チームの応援席も拍手でお祝い、敵味方関係なく球場全体から温かい拍手がわき上がり、思いやりを感じ、とてもあたたかな気持ちになりました。

昨年の夏、母校として竹水会でご尽力をいただいた伊原三枝子前会長が永眠されました。

伊原先生は、私の中学二年時の担任であり、中学・高校を通じて体育を教えて下さった先生でもありました。中学の担任時代の先生は、明るく、とても元気の良い先生でした。私たち教え子姉のように舵を取って下さったのを覚えています。かけがえのない師を失い、とても悲しく残念でなりません。先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

今年度開催の、ホームカミングデー・文化祭へ是非、皆様お誘い合わせの上母校に来校下さいますよう、よろしく願い申し上げます。楽しいひと時、懐かしいひと時を過ごしませんか？最後ではございますが、母校の益々の発展と皆様のご活躍とご健康を祈念申し上げますと同時に、今後も変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

変わることを恐れず、 変わらないものを大切に。

神田女学園中学校高等学校 第15代校長
菅澤 康宏



卒業生の皆様、いかにお過ごしでしょうか。日頃より神田女学園を温かく見守り、応援してくださっていることに、心より感謝申し上げます。

「今の神田女学園はどんな学校になっているのだろうか。」そんな思いで、この「竹水通信」を手にとってくださった卒業生の方も多いのではないのでしょうか。この一年を振り返ると、生徒たちの活躍は目を見張るものがありました。学習はもちろんのこと、探究活動、英語教育、部活動、ボランティア活動、海外研修など、一人ひとりが自分の可能性に挑戦し、「やってみよう」という気持ちで形にしてくれました。結果だけではありません。失敗を恐れず挑戦する姿勢こそが、今の神田女学園の大きな財産になっています。学校もまた、大きく変わり続けています。

私は教職員によく、「現状維持は衰退である」と話しています。社会が急速に変化する今、学校だけが変わらないという選択肢はありません。だからこそ、「待つ学校」ではなく、「選ばれる学校」への転換が大切と考えています。その考えを全教職員で共有し、授業改善、広報活動、生徒募集、教育内容の充実など、「ひとつひとつ丁寧に」を得ながら、「選ばれる学校」を目指し努力してきました。その結果、学校説明会では「生徒が生き生きとしている」「学校全体に前向きな空気を感ずる」という声をいただくことが増えました。何より嬉しなのは、生徒自身が神田女学園を

誇りに思い、自分の学校に対して愛着や自信を持つて紹介してくれるようになったことです。

女子教育も新しい時代を迎えています。知識を身につけるだけではなく、自ら考え、対話し、挑戦し、人と協働しながら社会を切り拓いていく力が求められています。だからこそ本校では、「安心して挑戦できる環境」を何より大切にしています。失敗しても支え合える仲間がいること、背中を押してくれる先生がいること、その安心感があるからこそ、生徒は一步前へ踏み出すことができると思っています。もちろん、神田女学園には変わらないものもあります。創立以来受け継がれてきた、「誠実さ」「思いやり」「品格」を大切に教育です。時代は変わっても、人として大切にすべき価値は変わりません。その土台の上に、新しい教育を積み重ねていくことが、私たちの使命だと考えています。

卒業生の皆様は、それぞれの時代の神田女学園をご存じです。ぜひ一度、今の神田女学園にも足を運んでいただきたいと思っています。校舎に響く生徒たちの笑顔や、真剣に学びに向かう姿をご覧いただければ、「母校はさらに前へ進んでいる」と感じていただけるはずです。学校は、卒業生にとつて「帰ってこられる場所」であり続けたいと思っています。そして、皆様が社会で培われた経験や知恵が、これからの神田女学園をさらに豊かにしてくださると信じています。

これから、生徒一人ひとりが未来に向かって力強く歩み、自分らしく輝ける学校であり続けられるよう、教職員一丸となって挑戦を続けてまいります。卒業生の皆様には、これからも神田女学園の一番の応援団として、温かく見守っていただければ幸いです。今後とも、神田女学園への変わらぬご支援、ご声援をよろしくお願い申し上げます。

..... 教頭就任のご挨拶

教頭 坂ノ下 祐子



私は、平成5年4月、数学科教員として採用され、本年4月より高校教頭を務めております。昨年度までは高校主幹として高校の教育活動に携わっておりましたが、本年度からは教頭として、これまでとは違った立場から本学園の教育に関わることとなり、新たな責任を感じながら日々の仕事に向き合っております。

勤め始めた頃と比べると、学校を取り巻く環境も、生徒たちを取り巻く社会も大きく変化し、ICTやAIの活用が進み、学び方そのものも変わりつつあります。これからの教育では、知識を身につけるだけでなく、得た情報を活用し、自分で考え、判断し、行動する力を育てることが重要になっていくと感じています。数学の授業でも、正しい答えを導くことだけではなく、そこに至るまでの過程や、自分の考えを説明することなども大切になっていきます。生徒の主体性を促し、一人ひとりに合った学びをどのようににつくっていくかが、これからの学校教育において重要な課題の一つだと思っています。

本学園でも、コースごとの特色を生かした学びや習熟度に応じた授業、探究的な学習、多言語教育など、時代に合わせたさまざまな教育に取り組んでいます。留学や国際交流など異文化に触れる機会も増え、生徒たちが自分の世界を広げていくための環境も整ってきました。一方で、教育が変化しても、生徒一人ひとりに寄り添い、その成長を支えるという学校の役割は変わらないと思っています。長く学校に勤めていると、卒業生が学校を訪ねてくれる機会も増え、

当時の学校生活や同窓生の話をしながら、懐かしい思い出を語り合うことも多くなりました。また近年では、卒業生が保護者となり、お子様を本学園に通わせている姿に出会うこともあります。以前は生徒として接していた卒業生と今度は保護者としての再会できることに、何とも言えない感慨深さを覚えます。これも、長く一つの学校に勤めてきたからこそ感じられる嬉しい出来事の一つです。

これまで教員として生徒たちと過ごしてきた中で、多くのことを学ばせていただきました。これからは教頭として、これまでの経験を生かしながら、教職員がそれぞれの力を発揮し、生徒たちの成長を支えられる学校づくりを進めていきたいと思っています。長い歴史の中で大切にしてきた伝統を受け継ぎながらも、時代の変化を的確に捉え、新しい教育にも柔軟に取り組んでいくことが、これからの神田女学園には必要だと考えています。在校生たち、そしてこれから神田女学園で学ぶ生徒たちが、それぞれの未来に向かって自分らしく歩んでいけるよう、学校としてできることを一つ一つ積み重ねていきたいと思っています。

竹水会の皆様には、これまで本学園を支えていただいたことに心より感謝申し上げます。これからも神田女学園の歩みを温かく見守っていただき、変わらぬご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

..... 教頭就任のご挨拶

教頭 池田 幸代



卒業生の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

このたび、校務教頭を拝命いたしました。

私はこれまで理科を担当するともに、中学・高校グローバルクラス・コース開設当初より、現在の探究活動の前身であるプロジェクト学習に携わってまいりました。

本校の探究活動では、日常のさまざまな出来事に「なぜだろう」「本当にそうなのだろうか」という問いを持つことから学びが始まります。そして、自分なりの答えを考え、仮説を立て、文献調査やアンケート、インタビューなどを通して検証を重ねていきます。本校の探究の特徴は、生徒一人ひとりの興味・関心を出発点としていることです。興味があるからこそ深く考え、自ら行動し、新たな問いを生み出すことができた。思いこそが、主体的に学び続ける力の源になると考えています。

これまで教務部長、教育推進部長として、時代の変化に対応した教育の実現を目指し、新たな取り組みを積極的に進めてまいりました。現在は校務教頭として、学校全体の教育活動を支えるとともに、探究活動のさらなる充実や理系プログラムの企画・運営にも携わっています。社会では、科学技術やデジタル分野をはじめ、理系人材への期待がますます高まっています。変化の激しい時代だからこそ、生徒が自ら学び、考え、未来を切り拓く力を育める教育を実現したいと考えています。

本校の歴史と伝統は、多くの卒業生の皆様によって築かれてきました。その歩みを大切に受け継ぎながら、これからの時代にふさわしい学びを創造し、生徒一人ひとりが自分らしく成長できる学校づくりに、教職員とともに取り組んでまいります。

また、本校では、社会で活躍されている卒業生の皆様とのつながりを大切にし、探究活動への助言やご協力をいただける機会を広げていきたいと考えています。皆様がこれまで培ってこられた知識や経験は、生徒たちにとって何より貴重な学びとな

ります。講演やインタビュー、探究活動のアドバイザーなど、さまざまな形で後輩たちの学びを支えていただけでしたら幸いです。

卒業生の皆様にとって、本校がいつまでも誇りであり、安心して帰ってこられる母校であり続けられるよう

う努めてまいります。そして、卒業生の皆様とともに、本校の未来を育んでいけることを心より願っております。

今後とも、本校への変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ご冥福をお祈りいたします

伊原三枝子先生 お世話になりました

昭和46年卒業第23回卒業
昭和50年〜平成27年度 保健体育科教諭
竹水会会長 平成24年〜令和2年まで
令和7年7月12日ご逝去されました。
享年72歳

謹んでご冥福をお祈りいたします



輝く恩師

退任のご挨拶

上野 良雄

竹水会のおか
皆様には、お健やかに
お過ごしのこととお喜
びを申し上げます。



さて、令和8年3月3日の卒業証書授与式の前日に恒例の竹水会入会式が挙行され今年も新たな会員の入会を見届けることができました。卒業式を前日に控えた皆さんの晴れ晴れとしたお顔が今も思い浮かびます。その中には、卒業生のご子女もいらっしやいました。こうやって卒業生のご子女の卒業を見届けることも多くなりました。また、在学生の中にも卒業生のご子女がたくさんいらっしやいますし、ありがたいことに令和8年度入学生の中にも数名卒業生のご子女がいらっしやいます。私は神田女学園で42年間を過ごしてまいりましたが、その重みを数字や言葉だけでは何とも言い難いところがありました。しかしながらお母様となられた卒業生の皆さまの在校時代の様子を思い浮かべておられますと、42年とはこういうことなのか、とその実感を味わっておられるところがございます。

入会式後には、退職する私にもお花やら、感謝状まで頂戴いたしました。竹水会の皆様、お気遣いをいただきまして本当にありがとうございます。神田女学園で様々な経験をさせていただきまして、振り返っておきますと、学園を巣立つていかれた多くの皆様や、現在はもちろんのこと、職場を共にさせていただきました次々さんの先輩諸氏の皆様のお顔が次々と浮かんでまいります。その一つひとつの思い出に浸りながら、これから立場を変えて竹水会の皆様

とと一緒に学園を応援してまいりたいと存じます。

末筆になりましたが、竹水会の皆様のますますのご活躍と、竹水会が学園とのご縁を一層深められ、更なるご発展を遂げられますよう、心よりお祈り申し上げます。

退任のご挨拶

佐藤 由依



この度、神田女学園中学校・高等学校を退職することとなりました。

私は神田女学園の卒業生であり、祖母、母、そして私と三代にわたり神田女学園で学ばせていただいた「神田っ娘」です。そのような母校で、今度は教員として約5年間勤務できたことは、私にとって大きな喜びであり、かけがえのない経験となりました。教員として生徒の皆さんと向き合う日々は、多くの学びと感動に溢れていました。授業や学校行事、何気ない日常の会話を通して、生徒の皆さんの成長を間近で見守ることができたことは、私にとって何よりの宝物です。うまくいかず悩むこともありました。生徒の皆さんの笑顔や前向きな姿勢に何度も励まされ、教員という仕事の素晴らしさに改めて実感しました。また、先生方には授業づくりや学校生活の中で多くのご指導、ご助言をいただきました。温かく支えてくださる先生方のおかげで、安心して教育活動に取り組むことができました。卒業生として迎え入れていただき、母校の一員として再び過ごせたことに、心より感謝しております。

神田女学園で生徒として学んだ日々、そして教員として過ごした5年間は、私の人生における大切な財産です。この学校で培った経験や教えを胸に、これからも一人でも多くの生徒の成長を支えられる教員を目指して努力を重ねてまいります。

最後になりますが、これまで支えてくださった生徒の皆さん、保護者の皆様、そして先生方に心より感謝申し上げます。神田女学園中学校・高等学校のますますのご発展と、皆様のご健康、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。本当にありがとうございます。

ご挨拶

小堀 美和

竹水会のみなさま、お変わりなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。このたび2026年3月31日をもって定年退職を迎えました。新卒で非常勤講師としてお声掛けいただき、4年目からは専任として担任を持たせていただきました。採用面接で、小泉八雲のことが話題になり「生徒の興味を引き出すような授業をしてください」と当時の小熊校長先生から励ましの言葉を受けたことを覚えています。

在勤中は、担任業務はもちろんのこと様々な校務に携わらせていただきました。中でも、社会人としての基礎をご指導いただいた進路指導部ではハローワークや大学の方と接する中で、自己研鑽に努め成長する機会となりました。大学進学を目指す生徒が増え、現在の個別指導に繋がっている形が出来上がりました。現理事長の高橋順子先生とご一緒に、徹底した英語指導と小論文、志望理由書指導で上位大学を目指す生徒への熱い日々を過ごしたことは、強く心に残っています。一定の成果を得ることができたことは、進路のターニングポイントになったと信じております。「生徒の大学進学希望をかなえられるよう、先生方の意識を変えよう」という成果を出さないと。とおっしゃった言葉はその後の進路指導の指針となりました。その後、新校舎建築のため永田町小学校に移転したころに、大学でAO入試が始まりました。生徒の強みや活動実績を生かせる新しい入試制度は本校にとって千載一遇のチャンスです。進路指導

部、学年を超えて学校全体で受験まで伴走する「学習コーチ制度」で生徒の夢の実現を後押ししてきました。

その後、教務部に籍を移し「プロジェクト学習（NCL）」の立ち上げと実施にあたり、先生方と「探究」する日々を過ごしました。和衷協同心を一つに知恵を絞って、本学園独自の「主体的な学び」「探究的な学び」を構築してきたことは、現在の「探究」に繋がっており本校の魅力と強みとなっています。どの部署にあっても、先生方のチームワークと目的に向かう粘り強さは、まさに「目的一貫」の体現です。そのようなみなさまに支えていただき神田女学園で勤務できたことは、生涯の宝となっております。また、上野教頭先生には、入職直後から授業案や考査の作成方法など細やかにご指導をいただき、国語科としての基礎を学びました。定年前の数年間は、教頭として広い視野と細やかな業務運営の重要性を教えていただきました。このご恩を学園にお返しできるよう努めます。

多くの卒業生は、様々な世界で自分らしい生き方をされています。公官庁で人々の安全と安心のために心を砕いている方、芸術分野で活動中の方。その中で、本校に戻られ国語科の教員となった卒業生の大野果奈先生にバトンを引き継いだことは、教員生活での何ものにも代えがたい大きな喜びです。

4月からは、専任講師として教頭補佐を仰せつかり、教頭業務の引継ぎも行ってまいります。国語科に加え、探究科の授業は新たな学びとなり「挑戦・探究」であると実感しています。「先生が楽しく授業をしている」と生徒は言います。初心と感謝の気持ちを忘れることなく、今後も学校に貢献するよう努めてまいります。

最後に、神田女学園の益々のご発展と学園にご縁のあるすべての方のご健康とご多幸を祈念して定年のご挨拶とさせていただきます。

拶とさせていただきます。

ご挨拶 河口 典子

竹水会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

私ごとではございますが、このたび、34年間の教員生活を経て定年を迎えました。まずは、昨年度まで無事に職務を全うできましたのも、皆様の温かいご支援とご協力があつたからこそと、心より深く感謝申し上げます。

私はこれまで、保健体育の教員として中高一貫教育の一翼を担って参りました。授業や数々の行事、何気ない学校での日々を振り返ると様々な場面が思い出されます。中学生を担当しているときは、思春期真っ只中の中学生ならではの瑞々しい成長を間近で見守ることができました。また、その一方でここ数年は高校3年生の体育の授業も担当させていただきました。特に体育祭で披露する60年以上という長きにわたり受け継がれてきた伝統のダンス「メイポールダンス」の指導に携われたことは、プレッシャーを感じつつも私にとって大きな喜びでした。メイポールダンスは卒業生の皆様の中にも、高校時代の懐かしい思い出の1ページに収まっている方がいらっしゃるのではないのでしょうか。何本もの美しい色のリボンを息を合わせて編み上げていくメイポールダンスは、誰一人として心が離れていては完成しません。最初は足並みが揃わなかった生徒たちが、練習で互いに声を掛け合い、心を一つにして本番を大成功させたときのあの感動は、いつまでも私の心に残っています。

また、長年顧問を務めさせていただいたバドミントン部でも数えきれないほどの思い出があります。夏は猛烈に暑くなる旧校舎の体育館での練習も、新しい校舎になり天井が高く空調のきいた現在の体育館になっても、常に部員たちと一緒にコートで心地よい汗を流しました。シャトルを必死に追いかける彼女たちのひたむきな姿、試合で勝ったときの弾けるような笑顔、そして負けたときの悔し涙。それらすべてを特等席で見守り、共に一喜一憂できた時間の全ては、私にとって何物にも代えがたい財産です。

この4月からは、再雇用という形で専任講師として再スタートすることとなりました。

立場は変わりますが、神田女学園の更なる発展のため、力を尽くしたいという気持ちに変わりはありません。そして、これからも体育教師らしく健康第一で精進してまいります。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

ご挨拶 山口 佳江

私事ではございますがこの度、32年間の専任職員生活を経て定年を迎える運びとなりました。4月から再雇用の嘱託職員として引き続き仕事をさせていただきます。長い間仕事を続けたのは、理事長先生、校長先生、事務長、教職員の皆様、保護者、生徒の皆様、卒業生の皆様の支えが有ればこそでした。事務局は様々な場面において扇の要を担っていると思います。チームワークが一番と自負のもと一人ひとりの責任と連携が生み出す信頼関係と安心して頼り合える掛けがえのない仲間達に感謝しております。

先生方との連携はその時々に変化する事案に臨機応変の対応策を教えていただき時には厳しく、時には優しく。先生方の偉大さを痛感しています。

私の在校中の思い出は月曜日の朝礼での朝の歌声、長柄研修センターへの遠足、一年ごとの文化祭と体育祭。東京体育館での最後のメイポールなど。勤務してからは、新校舎の建替でした。旧校舎からの引越作業は連日大変でした。

歴史ある学校は一つ一つ大切なもので処分することの難しさや受け継

がれなくてはならない品々や思い出の写真など吟味するだけで時間が足りませんでした。一校一家の言葉には、神田で出会ったすべの方々が何処かで繋がり、お互いを尊重し認め合い紡いで行く、常に「恕」の気持ち（誠愛勤朗）を忘れずに接して行くこと。今後最初心と感謝の気持ちを忘れることなく少しでも貢献できるよう努めて参ります。

長唄演奏会
紀尾井町ホール休館のため
今年度はなし
澤田 香萌さんコンサート情報
第30回国際音楽の日コンサート2026
10月4日（日） 14時開演
千葉市民会館ホール



ご退任の教職員先生

熱心なご指導ありがとうございました
加藤祐樹／占部涼也
寶 暁月／カーターカバニス
塚田智香子／渡邊寿代
深見愛治／石井香吏 各先生



新井幸彦事務長



大月 香穂先生



(左)望月芹梨花先生 (右)江森華子先生

輝く同窓生

長唄演奏会

紀尾井町ホール休館のため
今年度はなし

澤田 香萌さんコンサート情報

第30回国際音楽の日コンサート2026
10月4日（日） 14時開演
千葉市民会館ホール



Chapel Concert Vol. 11
無伴奏ヴィオラリサイタル
10月24日（土） 14時開演
オークラ千葉ホテル



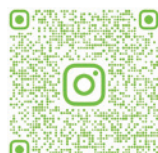
2008年度卒業 宇佐美 彩
2019年度卒業 宇佐美 真紀
2026年7月15日オープン

真彩／パーソナル整体

千代田区神田小川町3-11

E / Frontビル 808

※完全予約制、Instagram、LINEからご予約を受付ております。



頑張っています！後輩

心泉学園へ訪問

昭和30年代後半から親交が始まりました神奈川県中郡二宮町にあります児童養護施設「心泉学園」の子供たちとの交流会が2026年7月29日（水）に開催されました。

廻ること昭和30年代後半当時の在校生が週刊誌に取り上げられていた記事を見て自分たちにも出来ることはないかと友人数名で訪問したことが最初でした。20年前位には同窓生に呼び掛けて子供服の提供などし伝統は60年以上受け継がれて今日に至ります。今年は心泉学園に訪問しました。

中学ソフトボール部

①令和8年度 第75回東京都中学校夏季ソフトボール選手権大会

令和8年7月19日～22日

開催地 江戸川区 優勝

②令和8年度 第54回関東中学校ソフトボール部

令和8年8月6日

開催地 神奈川県 優勝

③令和8年度 第48回全国中学校ソフトボール大会

令和8年8月21日

開催地 岡山県 準優勝

高校ソフトボール部

①令和8年度東京都総合体育大会兼第78回全日本高等学校女子ソフトボール選手権東京都予選 優勝

②令和8年度全国高等学校総合体育大会ソフトボール競技大会

第78回全日本高等学校女子ソフトボール選手権大会出場

令和8年7月26日～7月30日

開催地 岡山県

③令和8年度国民スポーツ大会 東京都代表

令和8年8月14日～8月17日

開催地 千葉県 本大会出場



華道部
池坊華道会
宮路 郁子先生
花の甲子園2026地区大会出場

和太鼓部
5月10日（日）
に行われた太田
姫稲荷神社例大
祭にて演奏

ダンス部
第19回日本高校
ダンス選手権
東京都大会出場

中学ダンス部
第15回日本中学校
ダンス部選手権
東日本予選大会出場



宝塚観劇会
2005年
12月からさま
ざまな組の公
演を鑑賞して
います。
『タカラジェンヌ』
雪組配属
遥陽 音

お知らせ

体育祭

日時 2026年6月12日（金）

場所 駒沢体育館

文化祭について

日時 2026年9月19日（土）

～9月20日（日）

完全予約制
学校HPから
予約



同窓会総会について

今年度は中止となりました。

総会の承認について

議事につきましては下記議案について特別措置を取らせていただきます。

2026年3月2日（月）常任幹事会において、2025年度会務年度報告、2026年度会務計画（案）。

2026年3月2日（月）実施の会計監査において2025年度決算、2026年度予算について幹事会計監査・副会長・会長の監査をもってすべての議案が成立とさせていただきます。皆様のご理解・ご承認をお願いいたします。



贈呈式



2026.3.2 常任幹事会開催

2024年度(令和6)収支決算書ならびに2025年度(令和7)収支予算書				
自 2024年4月1日 至 2025年3月31日		自 2025年4月1日 至 2026年3月31日		
(単位:円)				
科目	2024年度予算額	決算額	2025年度予算額	備考
前年度繰越金	1,981,798	1,981,798	2,144,970	三淑夫人俱利伽羅印(15支)
入会金・退会費	2,432,500	2,432,500	2,467,500	年度主入会金・退会費(135名)(141名)
通信用料(口座引)	0	0	0	通信用料
通信用料	20	283	200	孫金持子
寄付金	0	74,500	75,000	文化祭参加費(クッキー)
雑収入	4,414,318	4,489,081	4,687,670	
合計	2,100,000	2,008,130	500,000	春の印刷・製本・タスクシート 他
会費	1,000	0	1,000	1年1回印刷・用紙代 他
文化祭参加費	80,000	70,240	80,000	文化祭参加費・運営費
入会式費	150,000	131,660	150,000	入会記念品代/用紙代 他
通信費	50,000	49,081	50,000	常設会費金会議費・郵送料 他
運営事務費	250,000	85,000	250,000	贈答品・印刷製本費 春の印刷製本費
雑費	1,783,318	2,144,970	3,656,670	三淑夫人俱利伽羅印(15支)
合計	4,414,318	4,489,081	4,687,670	
記念事業等積立金現在高(定期預金・普通預金・郵便局) 35,509,530円				

昨年度の寄付の方々
第35回卒業 佐藤久恵様 15,000円
神田の未来を応援する会 101,868円
ありがとうございました。

同期会のご案内について

同期会開催について

*合同開催…日程未定(卒業年/期)

2005年(平成17年) 第57回

2006年(平成18年) 第58回

2007年(平成19年) 第59回

2008年(令和元年) 第72回

2009年(令和2年) 第73回

*令和8年11月22日(日)開催

2022年(令和3年) 第74回

詳細は竹水会HP掲載予定

該当学年のお手伝い出来る方を募集しています。竹水メールにてご連絡ください。

2026年度(令和8年)竹水会 常任幹事役員一覧

会長 昭和55年卒業 竹内 喜代美



2026.3.2(月)入会式の様子

新学年幹事のみなさんです

2026年3月2日(月)に竹水会入会式が挙行され12名の新会員をお迎えしました。高橋菜月さん代表幹事をはじめ12名の新幹事が誕生しました。



（後列）岩下さくら（副代表）
C組 児島更紗
C組 高梨 澪
D組 武田 瑠
E組 高田夏音
E組 堀川璃子（欠）
G組 貴井倫加
G組 鈴木矢摩波
A組 大島心実
A組 高橋菜月（代表）
B組 大宮遙夏（会計）
B組 小原果弥乃



神田女学園 に行ってみよう!!



教育内容説明会 **教育**

出題傾向解説会 **出題**

授業見学会 **授業**

高 校

中 学

2026年 10月 3日 **土** 14:00～ **教育**
 10月17日 **土** 10:30～ **授業**
 10月30日 **金** 18:00～ **イブニング説明会**
 11月 7日 **土** 14:00～ **教育**
 11月14日 **土** 10:30～ **授業**
 12月 5日 **土** 14:00～ **出題**
2027年 1月 9日 **土** 14:00～ **出題**

2026年 10月 4日 **日** 9:00～ **教育**
 10月17日 **土** 10:30～ **授業**
 10月30日 **金** 18:00～ **イブニング説明会**
 11月 8日 **日** 9:00～ **教育**
 11月14日 **土** 10:30～ **授業**
 11月28日 **土** 14:00～ **出題**
 12月13日 **日** 9:00～ **教育**
 12月19日 **土** 14:00～ **出題**
2027年 1月17日 **日** 9:25～ **ONETES×KANDA**
 1月24日 **日** 9:00～ **教育**
 3月14日 **日** 9:00～ **教育**

高校・中学 文 化 祭

2026年 9月19日 **土**) 予約制
 9月20日 **日**)

個別相談会 11月21日 **土** ～11月28日 **土**

※説明会・イベントへの参加申込は
 学校説明会申込みサイトからの予約制となります
<https://www.kandajogakuen.ed.jp/>

※入試に関する個別相談や学校見学等のお問い合わせは広報部へご連絡ください。
 ※学園関係の子女には優遇制度がございます。お問い合わせください。

☎ 03-6383-3751

みなさんの参加を
 お待ちしています!



● 2026文化祭入場について ●

「完全予約制」になっています。学校HPから予約が出来ます。各日先着100名になっています。予約は卒業生のみとなっております。神田女学園HPより予約を受付しています。卒業生の方で現在お様が在学の方は保護者のサイトで申込みください。

● ご協力お願いします

ご案内

日頃よりご愛読いただいております竹水通信送付は30号をもちまして最終号となります。昨今の諸事情を鑑みて郵便での送付を停止する運びとなりました。つきましては通信費のご送金は遠慮させていただきます。今までご協力を賜りましたこと心から感謝申し上げます。また新たな取り組みの際にはご協力をあらためてお知らせ致します。

☆住所等変更

住所・氏名等の変更がございましたら卒業年、クラス、旧姓等を記入の上、変更事項を郵便・FAX **03-3233-1890**・竹水会 **メール** のいずれかでご連絡ください。

☆名簿業者についての注意

当同窓会は全く関与しておりません。(インターネット上の同窓生伝言板も関与しておりません)

＝お気をつけて下さい＝

同窓会では個人情報保護法に基づき名簿の発行の予定は現在ではございません。

☆「輝く同窓生」

同窓生の活動やお店などをご紹介します。自薦・他薦問いません。

FAX 03 (3233) 1890・**メール chikusui@kandajogakuen.ed.jp**

まで情報をお寄せ下さい。

通信が不要な方は「メール」でお知らせください。

URL
<https://www.kandajogakuen.ed.jp/chikusuikai/>



竹水会ホームページについて